

「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業 【富山県】

総事業費	416 千円
交付金額	208 千円

地域の実情と課題

- ①富山県における建設業の女性従事者の割合 (R3)は 19.8%で、全産業 (43.6%) に比べて低い
- ②建設業は、従事者の減少とともに高齢化が進んでおり、今後の建設業界の担い手確保対策として、女性の入職・定着の促進を図ることが必要

目的・目標

項目	現状	目標
富山県における建設業の女性従事者の割合	19.8%(R3)	20.0%

事業の特徴

- 建設系学科を専攻する女子大学生を対象に、
- ①建設現場における女性技術者の活躍状況や整備された職場環境などを知ってもらう見学会を開催する
 - ②第一線で活躍している女性技術者と直接、意見交換・交流できる座談会を開催する
 - ③女性が働きやすい環境の整備に関する方策等について、女性技術者と男性職員が共に考えるセミナーを開催する

連携団体

- (一社) 富山県建設業協会
- 県内大学 (富山大学、富山県立大学)
- 県内建設企業

ほか

事業の効果

- ①女子大学生と女性技術者による現場見学会
参加者：女子大学生20名
- ②女子大学生と女性技術者との座談会
参加者：女子大学生27名、女性技術者9名
- ③女性技術者等のための研修セミナー
参加者：女性技術者16名、上司・同僚男性4名

今後の課題

建設業のイメージアップを図り、建設業界でも女性が活躍できることや職場環境等を実際に知ってもらうことで、就職先の選択肢の1つとして認識してもらうだけでなく、実際に建設業への入職・定着につなげていく必要がある。

事業の概要

(1) 「女子大学生と女性技術者による現場見学会」の開催

建設現場での女性技術者の活躍状況や整備された職場環境などを、女子大学生に見学してもらい、建設業界でも女性が活躍できることを知り、就職先の選択肢の1つとして認識してもらうことにより、建設業への入職・定着につなげる。

〈参加者アンケート意見（一部）〉

- ・将来建設関係で働くと考えているため、学生のうちに現場を見ることができたのはよい経験だった
- ・力仕事だけではなく、繊細さも求められる現場において、女性の意見も重宝されることが分かった
- ・女性の職員が増えていることを知った など



(2) 「女子大学生と女性技術者との座談会」の開催

建設業界で働くイメージや、職場の環境・雰囲気、仕事とプライベートの両立など、普段は聞くことのできない疑問や不安について、女子大学生が、第一線で活躍している女性技術者と直接、意見交換できる座談会を開催し、不安を払拭するとともに参加者どうしの交流を深めることで、建設業への入職・定着につなげる。

〈参加者アンケート意見（一部）〉

- ・女性ならではの産休や育休の話を聞くことができた
- ・建設業は男性の仕事のイメージが強かったが、女性も中心となって仕事をしていることを知ることができた
- ・建設業は女性に厳しいイメージ（体力的につらい、女性の福利厚生が十分とは言えない）があったが、そうではないと感じた など



(3) 「女性技術者等活躍推進セミナー」の開催

県内の建設業界で働いている女性技術者が集い、さまざまな人の意見を聞いて、女性がさらに活躍できる環境や働き方に対するためにどのような取組みが必要かを考える機会とする。また、他会社の女性技術者との交流や情報交換（横のつながり）、連携等を図り女性技術者等の定着につなげる。